

[報告第 1 号]

バスロケーションシステム・IC カードリーダー導入事業の報告

1 バスロケーションシステム導入

(1) バスロケーションシステムの概要

平成 29 年 2 月 1 日から守谷市バスロケーションシステム「見えバス」が導入されました。「見えバス」とは、スマートフォンやパソコン、市内の公共施設等に設置した大型モニターで、市内のバス（モコバス・路線バス）の現在地・時刻表・ルートが確認できるシステムです。

「見えバス」へアクセスすると、画面上にご自身の位置とバス・バス停が表示されます（モコバスは赤、路線バスは青）。また、画面上のバス停をタッチするとバス停名と路線が表示され、バスの行き先が分かります。画面上のバスをタッチすると、そのバスの時刻（遅延情報）が表示されます。

(2) 利用方法（詳細は「参考 2」参照）

【パソコンの場合】

市ホームページのトップページにある「見えバス」バナーから見るができます。なお、URL は <https://miebus.com> です。



【スマートフォンやタブレット】

アプリストアから「見えバス」で検索していただき、アプリをインストールするだけで利用できます（無料）。

(3) モニターの設置

市内の公共施設等にバスロケーションシステム「見えバス」専用の大型モニター（40 インチ）を設置しました。簡単なボタン操作で閲覧が可能です。

設置箇所は、下記のとおりです。

①守谷市役所 ②守谷中央図書館 ③保健センター ④中央公民館 ⑤郷州公民

館 ⑥高野公民館 ⑦北守谷公民館 ⑧文化会館 ⑨守谷市民交流プラザ ⑩南守谷児童センター ⑪TX アベニュー守谷（守谷駅フードコート） ⑫慶友病院 ⑬ひがしクリニック慶友

（４）「見えバス」の利用状況

2月の「見えバス」へのアクセス数は18,831件、アプリのダウンロード数は850件になります。

※3月には、各公民館等にて「使い方」講習会を行い、高齢者を中心に「見えバス」の使い方を学んでいただきました。

2 ICカードリーダー導入

（１）ICカードリーダーの概要

平成29年2月1日から、モコバスでSuicaやPASMOなどの交通系ICカードが使えるようになりました。

（２）利用方法

乗車の際、ICカード読み取り部にお手持ちのICカードをタッチすると、自動的に運賃を引き去ります。



青く光ってピッと
鳴るまでタッチ



大型バス



小型バス

（３）利用状況

2月のICカード利用件数は507件で、乗車人数全体の約5パーセントでした。